



12月16日(水)に今年度第3回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

1-1 『びくびくピリー』



アンソニー・ブラウン 作/絵
灰島 かり 訳
評論社/2006年

いつも色々な事が心配なピリーという子がいました。そこで、おばあちゃんに相談し、心配をとってくれる人形をもらい寝られるようになりました。が・・・。

(森田 真紀)

2-1 『ゆうだち』



あきびんご 作/絵
偕成社/2012年

トリニダード・トバコ共和国に伝わる民話を日本の南の島に移して語ったお話。あまやどりに誘ったヤギを食べようとしたオオカミが、反対にやっつけられる。

(上野 邦晴)

1-2 『100年たったら』



石井 睦美 作
あべ 弘土 絵
アリス館/2018年

ずっと昔、広い草原にたった一匹のライオンが住んでいた。ある日のこと、ぼろぼろの翼の1羽の鳥が草原に降りた。その日から鳥は草原で暮らし始めることに。

他『古井戸に落ちたロバ』じゃこめてい出版

(堀越 安代)

2-2 『大型絵本 100にんのサンタクロース』



谷口 智則 作/絵
文溪堂/2013年

あるところに100人のサンタクロースが住む町がありました。サンタは100人みんなで協力してクリスマスの準備をします。そしてみんなにプレゼントを配り終わったあとは・・・。

(坂本 香奈)

1-3 『紙芝居「おやゆびトム」』



岩倉 千春 作
篠崎 三朗 絵
童心社/2011年

親指くらい小さいトムが、牛に食べられたり、カラスにくわえられたり冒険をします。最後には元気にお父さんお母さんのところへ帰る楽しいお話です。

(川畑 けい子)

2-3 『そっと いちどだけ』



なりゆき わかこ 作
いりやま さとし 絵
ポプラ社/2009年

わたしは盲導犬。わたしの仕事はあかねさんを守ること。あかねさんの目になっていっしょうけんめい守るステラの姿があたたかく、けなげに伝わってきます。

(唐 勝子)

1-4 『サンタクロースってほんとにいるの?』



てるおか いつこ 作
すぎうら はんも 絵
福音館書店/1982年

サンタクロースは本当にいるのか不安な子供の疑問を大人が一つ一つ答えていく話。カギが閉まっても入ってこれるの?死なないの?という疑問に答えます。

(藤田 佳子)

2-4 『おおかみのクリスマス』



ミッシェル・ゲイ 作/絵
やました はるお 訳
佑学社/1982年

フランスの山おくに白いオオカミの親子がすんでいます。お父さんオオカミはへんそうをして、子どもたちのクリスマスプレゼントをさがしに町へ行きますが・・・。

(齊藤 みゆき)

11月、2年生は担任の先生が読み聞かせをしてくださいました。先生方が読んでくださった本をご紹介します。

2-1 『おすしのせかいりょう』 ★竹下文字 作/鈴木まもる 絵/金の星社 (大野先生)

2-2 『十二支のお節料理』 ★川端誠 作・絵/BL出版 (武正先生)

2-3 『かわいそうなぞう』 ★つちやゆきお作/たけべもといちろう絵/金の星社 (富樫先生)

2-4 『かさこじぞう』 ★いわさききょう作/あらいごろう絵/ポプラ社 (狩野先生)



次回の読み聞かせは

1月20日(水) 8:25~8:40です。

お楽しみに!

なお、保護者のみなさんも見学できます。

ぱたぽん通信が本選の参考になればうれしいです!



うらもご覧ください

3-1 『よのなかルールブック』



高濱 正伸 作
林 ユミ 絵
日本図書センター/2019年

石井先生が読んで下さいました。

5-1 『じごくのさたも うでしだい』



もとした いづみ 作
竹内 通雅 絵
ひかりのくに/2014年

ある村で同じ日に生まれた3人の赤んぼう。すくすくと育ち、何十年もたった後、ぐうぜんにも同じ日にしんじやった。3人そろってあの世にいきますが・・・。

(三澤 文美佳)

3-2 『ゆめぎんこう』



コンドウ アキ 作/絵
白泉社/2020年

かげやませんせい 読んで下さいました。

5-2 『りんごのおじさん』



竹下 文子 作
鈴木 まるる 絵
ハッピーオウル社/2008年

苦勞の末に、肥料も農薬も使わないりんごの自然栽培を成功させた実話に基づくお話です。おじさんの苦勞と花が咲いた時の喜びが伝わってくる本です。

(高木 和美)

3-3 『ころべばいいのに』★



ヨシタケシンスケ 作/絵
プロズ新社/2019年

ほしの きょうこせんせい 読んで下さいました。

5-3 『ギルガメシュ王ものがたり』



ルドミラ・ゼーマン 作/絵
松野 正子 訳
岩波書店/2014年

愛すること、信じることを知らないギルガメシュ王は、世界一の城壁づくりに人びとを奴隷のように働かせますが・・・。

(乾 和花)

4-1 『せかいいちしあわせな クマのぬいぐるみ』



サム・マクブラットニイ 作
サム・アッシャー 絵
吉上 恭太 訳
徳間書店/2019年

とても大切にしていた、クマのぬいぐるみをなくしてしまった少女。それから様々な人の手に渡り、60年の月日をへて持ち主の元に戻ってきました。

(西山 千代子)

6-1 『クリスマスのおくりもの』



ジョン・バーニンガム 作/絵
長田 弘 訳
ほるぷ出版/1993年

クリスマス夜の夜、サンタさんは家にもどると袋の中に一つだけ贈り物が残っている事に気づきました。なんとかしてクリスマスの朝までにとどけることにしたのですが・・・。

(飯村 愛子)

4-2 『紙芝居「モチモチの木」』★



斎藤 隆介 作
諸橋 精光 絵
鈴木出版/2001年

三年生の国語で学ぶ「モチモチの木」の紙芝居です。画家は絵本と異なりますが、物語の迫力は同じです。絵本と共に楽しんでほしいと思います。

(廣吉 和子)

6-2 『ことばのかたち』



おーなり 由子 作/絵
講談社/2013年

ことばにかたちがあるとしたら、人を傷つけることばが針のかたちをしていたら・・・。何気なく話していることばの大切さに気付かされるお話です。

他『おおきいサンタとちいさいサンタ』文溪堂

(西澤 美穂子)

4-3 『モチモチの木』★



斎藤 隆介 作
滝平 二郎 絵
岩崎書店/1971年

モチモチの木に火がつくのをみられるのは勇気のある子供だけ。弱虫な豆太は？豆太とじさまのやさしさが伝わります。

(伊藤 桂子)

6-3 『ゆっくりがいっぱい』



エリック・カール 作/絵
くどう なおこ 訳
偕成社/2003年

なんで いつも いそいでいるんだろう？きびきびやれ！時間がなくなるぞ！ものしずかに平和に生きるナマケモノのすがたからなにかを感ずってくれたらなあ。(あとがきより)

(森田 有子)